

# 静岡型小中一貫教育に期待しています

「つながる力」は、静岡型小中一貫教育の大切なキーワードです。静岡市の小中一貫教育がどう創られているのか楽しみです。



筑波大学 教授 樋口 直宏

英語学習などを通して、より広い世界とつながっていくことに、子どもたちはとてもわくわくすると思います。



静岡市教育委員会 委員長 伊藤 嘉奈子

小・中学生が地域防災訓練に参加する姿に感心しました。困っている人に積極的に手をさしのべられるような人になってほしいです。



静岡市自治会連合会 会長 瀧 義弘



常葉大学大学院 教授 安藤 雅之

各グループ校の強みを出し合い、認め合うことから未来志向のカリキュラムが生まれます。

今までの教育は「金太郎飴」のように、どの学校でも一定水準の教育が保障されていました。これからは、さらに金太郎にどのような「まさかり」を持たせるか(各グループ校が特色ある教育を行うこと)が重要となります。

「しずおか学」を学んだ子どもたちが、静岡人として、地域社会、日本、世界へ広がっていく展開がとてもよいと思います。



静岡市小中学校 PTA連絡協議会 会長 藤田 三佐子

「つながる力」とは「生きていく力」そのものです。自分一人ではなく、いろんな人に見守っていただきながら育っていることを実感してほしいです。



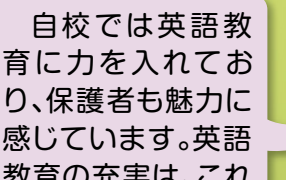
静岡市教育委員会 教育長 高木雅宏



静岡市社会教育委員 弓削 幸恵

学校を創るのは、建物ではなく人です。「小中学校の先生と一緒に」ということが大事であり、別々の建物でも、気持ちをつなげて、がんばってほしいです。

小学校と中学校がそれぞれの良さを活かしながら、どのように一貫した教育活動をしていくか、各グループ校の創意工夫に期待しています。



静岡サレジオ 小・中・高等学校 校長 末吉 弘治



静岡聖光学院 中学校・高等学校 校長 岡村 壽夫



静岡大学大学院 教授 武井 敦史



静岡大学大学院 教授 武井 敦史

## 静岡型小中一貫教育組合せ(グループ)校一覧

中学校	小学校 <small>※は進学先が複数の中学校になっている学校です。</small>				連携校	静岡型小中一貫教育 実践研究指定校 <small>(II期は内定とし、再募集します。)</small>
籠上中	井宮小	井宮北小				II期内定校(H32~33年度)
末広中	番町小	新通小	安西小			
安倍川中	駒形小	田町小				
美和中	安倍口小	美和小	足久保小			I期決定校(H30~31年度)
城内中	伝馬町小	葵小			横内小	I期決定校(H30~31年度)
安東中	安東小	竜南小 ※	城北小 ※			
東中	横内小 ※	千代田小			竜南小・千代田東小	I期決定校(H30~31年度)
西奈中	西奈南小					
観山中	麻機小	千代田東小 ※			竜南小・城北小	
竜爪中	西奈小	北沼上小			千代田東小	
賤機中	賤機南小	賤機北小	賤機中小	松野小		
	大河内小中					
	梅ヶ島小中					
玉川中	玉川小					
	井川小中					
服織中	服織小	服織西小	南藁科小			
藁科中	中藁科小	水見色小	清沢小	峰山小		
	大川小中					
大里中	大里西小	中田小				
南中	大里東小	大谷小	久能小	宮竹小		
中島中	中島小					I期決定校(H30~31年度)
豊田中	西豊田小				富士見小	
東豊田中	東豊田小	東源台小				II期内定校(H32~33年度)
高松中	森下小	南部小	富士見小 ※			
長田西中	長田西小	長田北小				
長田南中	長田東小	川原小				
城山中	長田南小					
清水第一中	清水辻小	清水江尻小				II期内定校(H32~33年度)
清水第二中	清水浜田小	清水岡小	清水船越小			
清水第三中	清水小					
清水第四中	清水不二見小	清水駒越小				
清水第五中	清水三保第一小	清水三保第二小				
清水第六中	清水高部小	清水高部東小				
清水第七中	清水有度第一小	清水有度第二小				
清水第八中	清水入江小					
清水飯田中	清水飯田小	清水飯田東小				
清水袖師中	清水袖師小					
清水庵原中	清水庵原小					
清水興津中	清水興津小					
清水小島中	清水小島小	清水小河内小	清水宍原小			
清水両河内中	清水中河内小	清水西河内小	清水和田島小			
蒲原中	蒲原西小	蒲原東小				
由比中	由比小	由比北小				



つながる力を育てる

# 静岡型小中一貫教育

平成34年度 全市一斉  
静岡型小中一貫教育  
スタート!



平成28年度 静岡型小中一貫教育  
教育課程協議会委員の皆さんの言葉

静岡市教育委員会事務局教育局 学校教育課  
〒424-8701 静岡市清水区旭町6番8号 TEL:054-354-2519・2533 FAX:054-354-2481  
<https://gakkyo.shizuoka.ednet.jp>

平成29年3月  
静岡市教育委員会 学校教育課

# 「たくましく しなやかな子どもたち」の育成を目指して

## 1 「静岡型小中一貫教育」は何のためにするの？

- ① 本市教育の質をさらに高めます
- ② 子どもたちの社会参画意識をさらに高めます
- ③ 小・中学校の教職員の意識と指導力をさらに高めます
- ④ 学校と地域社会の互惠関係をさらに強めます

静岡型小中一貫教育は、この4つの目的を実現し、「たくましくしなやかな子どもたち」の育成を目指す教育です。



## 2 「静岡型小中一貫教育」はどのように進めるの？

### 学校

- 「めざす子どもの姿」をグループ校で同じにします
- 9年間の教育計画をグループ校で考えます
- 小学校と中学校の教職員が協働して指導に取り組みます

グループ校とは、静岡型一貫教育組合せ(グループ)校のことです。  
※巻末の組合せ(グループ)校一覧を参照

### 地域

- 学校と地域の結びつきをより強くします
- グループ校の小中一貫教育を準備する組織に参加します

### 教育委員会

- 学校と地域のやりたいことを支援します
- 静岡型小中一貫教育の成果や課題を検証します

「グループ校ならではの教育」をつくります

## 3 「静岡型小中一貫教育」でどのような力を育てるの？

未来を担うための資質・能力を育成します

### 「つながる力」

(Social Bond) = 社会的な絆の育成

生きて働く「知識・技能」の習得

未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力 等」の育成

学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性 等」の涵養

静岡型小中一貫教育は、小学校と中学校の「たてのつながり」と、学校と地域の「よこのつながり」を強化した、9年間の一貫した教育です。



よこのつながり(学校と地域)

たてのつながり(小学校と中学校)

# 小学校と中学校の「つながり」、学校と地域の「つながり」を大切にして、子どもたちの9年間の学びと育ちをつなぐ

## 「静岡型小中一貫教育」



教育活動はどう変わるの？

### グループ校で「めざす子どもの姿」が同じになります

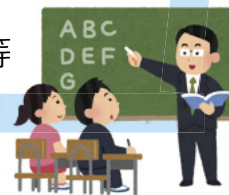


各グループ校で、めざす子どもの姿を共有し、9年間を見通したつながりのある教育(グループ校ならではのカリキュラム)を行います。

### 小学生と中学生がさらに交流します



- 〈小学生と中学生の交流例〉
- 音楽集会、美術展などの合同開催
  - 小学生の中学校一日体験
  - 小中学生合同の英語授業 等



### すべてのグループ校で取り組みます

### 「しずおか学」

地域や静岡市に愛着と誇りを持ち、社会や世界に広く目を向けることができる子どもを育てます

- 主に『総合的な学習の時間』を通して学習を進めます。  
【内容例】 静岡市の歴史や文化(祭り・人物・史跡等)、お茶、しずまえ、オクシズ、海洋、防災
- 『しずおか学-Book』を活用して学習します。  
【内容例】 礼儀、公共マナー、郷土愛、思いやり、国際理解 等



## 学校・保護者・地域の「つながり」で「地域ならではの学校づくり」をさらに進めます



### 地域との交流をより大切にします



- 〈児童・生徒と地域の交流例〉
- 地域の防災訓練や美化活動への小中学生の参加
  - 地域の方を講師に迎えた授業
  - 地域の乳幼児と交流する保育実習 等



※例はあくまでも一例です。今後、どのような取組をするのかは、グループ校ごとに決めていきます。

### 小学校と中学校の先生が同じ取り組みをします



- 〈グループ校の先生の取り組み例〉
- 9年間を通して、一人ひとりの子どもときめ細やかにかかわります。
  - 授業の進め方や家庭学習のやり方等を小学校と中学校の先生と一緒に考えます。

### 変わらないこともあるの？



### 今までどおり、変わらないこともあります



- 小学校と中学校の施設(校舎等)はそのまま\*で、小中一貫教育をスタートします。
- 私立小学校・中学校への進学については、これまでと変わりません。
- 自治会の組織やPTAの組織が変わることは想定していません。
- 入学式や卒業式は、これまでどおり行います。

\*中山間地においては、施設一体型の学校もあります。

### 地域社会や世界で活躍する「グローバル人材」を育成します！



### 「英語力の向上」

聞く力・話す力を高め、自分と異なる文化をもつ外国の方々と、つながる力を育てます

- 小学5・6年生で教科としての英語が始まります。(平成30年度~)
- 小学3・4年生の外国語活動(英語活動)が始まります。(平成30年度~)
- 静岡市独自の補助教材を作成します。
- ALT(外国人の指導助手)を増員します。

